

小学校卒業近づく

新座市立東北小6年

森家 萌心 12 (新座市)

「チリチリチリ……」

目覚まし時計が鳴ると、また別れが近づいたと思ったしまう自分がいる。

もちろん、行きたい中学に行けることが決まってるうれしい。けれど、やっぱり一年間絆を深めてきた最高のクラス、友達と別れてしまつのは、寂しい。

大好きな友達と、あと少しでお別れだと思っただけで、嫌な気分になる。中学に行っても、関わり続けていきたい。その思いから生まれた、ネガティブな自分。でも、人生これくらいで折れちゃダメだ。前を向いて、中学への道を進んでいきたい。

このように、私は大好きな仲間と別れるのが、とても寂しいと思っっている。けれど、前を向いて、「小学校を卒業する」という人生まだまだなスタートを切りたいと思う。